



巻頭言
持続可能な取組に不可欠な
『笑顔』の理由

南島詩人
平田大一

特集

持続可能な観光

国連は当年を「持続可能な国際観光年」と定め、観光の視点から持続可能性を高める呼びかけをおこなっている。また当財団でも自主・受託事業を通じて同テーマに取り組んできた。しかし、これまでは理論・概念からの整理が主で、現場の視点からの整理・分析が不足している。そこで本特集では、具体的な事例を中心に持続可能な観光を分析し、持続可能な観光の「現場」での「実践」に向けた提言をおこなう。

① 座談会

旅と持続可能性

旅をする立場から観光の持続可能性を考えると、今どのような課題があるのだろうか？ それに対して旅行者にできることは何か、受入れる側がすべきことはどんなことか。3人の旅の達人に問う。

石森秀三（北海道博物館館長）

× 青山佳世（フリーアナウンサー）

× シエルパ斉藤（紀行作家）

② 世界の潮流

持続可能な観光国際年における各地の取り組み

国際年にあたり、各国政府・業界において持続可能な観光に向けた取り組みが進められている。同動向を国連の取り組みと合わせて整理する。

観光地域研究部
主任研究員
中島泰

③ 事例報告

現場に学ぶ解決力

国内各地から、資源（自然・文化）、社会（住民・観光客）、経済（産業・雇用）の視点から持続可能な観光に取り組むケースを取り上げ、具体的な課題、解決の手法、成果について取り上げる。



四国八十八か所

① 知床 自然保護地域における持続可能な観光 公益財団法人 知床財団 P 18
秋葉圭太

② 奥入瀬 通過型観光から滞在型観光への転換 NPO法人奥入瀬自然観光資源研究会代表 P 21
河井大輔

③ 海女文化 伝統産業とサステイナブルリズム 宮崎県綾町 ユネスコユバーク推進室 P 23
加藤久美

④ 綾町 地域の産業・人々の生活文化そのものが観光資源 曾我 傑 P 25

⑤ 南城市 地元住民が主体となった資源の活用と保全 南城市企画部 観光商工課 P 27
喜瀬斗志也

⑥ 座間味村 島の健康診断プロジェクトー沖縄県座間味村を例に 観光地域研究部 P 29
中島泰

⑦ 恩納村 「世界一サンゴにやさしい村」を目指す恩納村 株式会社サスチア 代表取締役 P 32
山岸豊

⑧ 真喜屋 真喜屋の滝の保全と利用 がじゅまる自然学校代表 P 34
小林政文

④ 視座

「持続可能」を考える 理事・観光地域研究部長 P 36
寺崎 竜雄

我が国の観光の現場で起きている本誌記載の「持続可能性を拒む行為や現象(インパクト)」を、「インパクトを受ける客体」と「インパクトをもたらす要因」を併せて積み上げる作業を通して「持続可能な観光」を考察する。

観光研究レビュー

第23回 APTA年次国際会議参加報告 観光文化研究センター P 41
旅の図書館長
企画室長 主任研究員
福永香織

活動報告

第9回 たびとしよCafeを開催 ゲストスピーカー：アートディレクター、デザイナー 市角壮玄氏 P 45
観光文化情報センター
主任研究員
福永香織

【連載】私の研究と観光 第10回

「モノからコト」の時代の、旅と観光 早稲田大学 P 48
商学大学院教授/教授
守口剛

【連載】わたしの1冊 第10回 跡見学園女子大 P 50
『風景学入門』 中村良夫著 中公新書
観光コミュニケーション学部/教授
安島博幸

旅の図書館だより 第2回

リニューアル開館1周年を迎えて 主任研究員 P 51
大隅一志

特集テーマ関連図書紹介

表紙写真…

- ① 熊野古道・紀伊路(和歌山県) ② 四国八十八か所
- ③ サンチアゴ巡礼路の巡礼者用の宿、アルベルゲ ④ 知床(北海道斜里町)
- ⑤ カミーノ・デ・サンチアゴの道標 ⑥ 奥入瀬溪流(青森県十和田市)
- ⑦ 真喜屋の滝(沖縄県名護市) ⑧ セイファーウタキ(沖縄県南城市)
- ⑨ フォーウタキ(沖縄県南城市久高島) ⑩ 熊野古道・紀伊路(和歌山県)
- ⑪ サンチアゴ巡礼路の道順を示すサイン ⑫ 知床五湖の高架木道(北海道斜里町)

表4写真…真喜屋(沖縄県・名護市)

